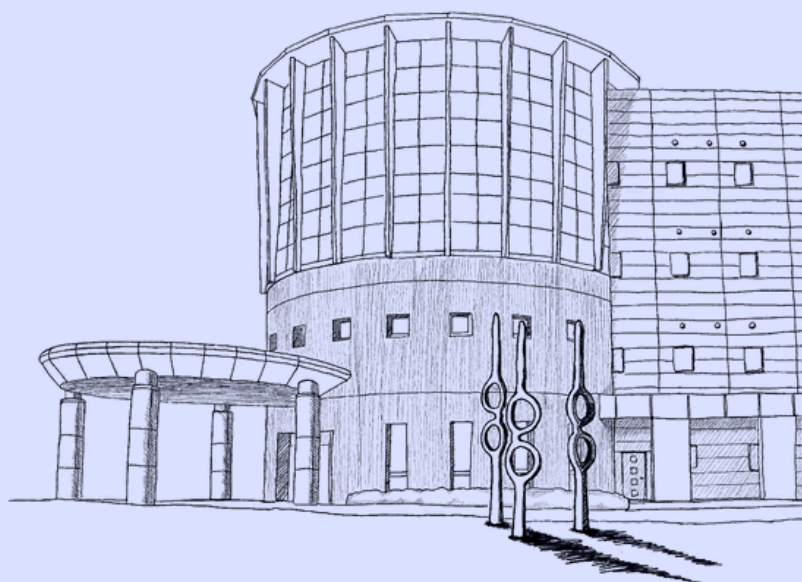


2025年3月

CSR 活動報告書 2024

CHARMANT



INDEX

・ パーパス・ビジョン・ミッション	P02
-------------------	-----

・ マテリアリティとKPI	P03
---------------	-----

・ 活動トピックス	P05
-----------	-----

パーパス＝存在意義

感動を創造する

ビジョン＝あるべき社会

未来につながるイノベーションで、
世界中の人々を笑顔にする。

ミッション＝なすべき使命

1. INNOVATION 改革

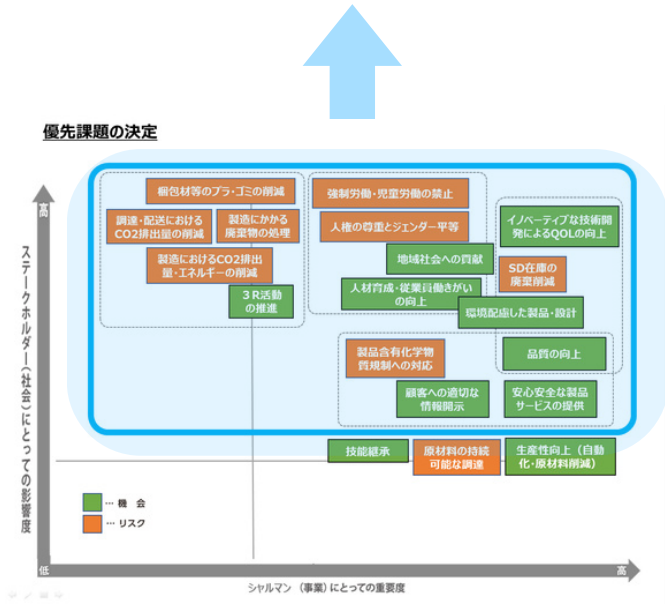
2. CO-CREATION 共創

3. SUSTAINABILITY 持続可能性

マテリアリティ（重要取組課題）

シャルマングループは、H（Human＝人財）およびESG（環境・社会・ガバナンス）を企業活動全体における重要な視点と位置付け、積極的に取り組んでまいります。

	マテリアリティ	マテリアリティ説明	取り組み課題	対応するSDGs
H 人財	人権の尊重と働きがい	シャルマングループは人権尊重、多様性、男女平等、雇用機会均等など社会の要請に忠実に応えてまいります。また社員一人一人の個性を尊重し、その能力を存分に発揮できる明るい職場環境に取り組んでまいります。	- ダイバーシティ - ワークライフバランス - 女性の活躍の推進 - キャリア形成 - サプライチェーンにおける、強制労働・児童労働の撤廃	   
E 環境	環境マネジメントの推進	シャルマングループは自社およびバリューチェーンの事業プロセスにおいて、積極的に環境に配慮した活動を行ってまいります。	- 温室効果ガス排出量の削減 - 再生可能エネルギーへの転換 - プラスチック梱包材の削減 - 廃棄物の削減	   
S 社会	事業活動を通じた人々の生活の質の向上	シャルマングループは、自社の製品とサービスによってすべての人々のQOLを高めるとともに、事業活動を通じてそれぞれの国・地域社会の発展に貢献してまいります。	- イノベティブな技術開発によるQOLの向上 - 安心安全な製品・サービスの提供 - それぞれの地域社会への貢献	   
G ガバナンス	コーポレートガバナンスの強化	シャルマングループは法令を遵守し、リスクマネジメントを徹底しながら、ESG課題に積極的に取り組んでまいります。	- ガバナンス体制・機能の継続的強化 - コンプライアンス方針の徹底 - 各種リスクに対する管理の徹底	 



シャルマンが優先的に取り組むべきマテリアリティについては、2022年にCSR推進委員会を中心とした役職者会、および、役員会にて、ISO26000・SDGs等の、CSRやサステナビリティに関する原則・指針を参照し、社会やステークホルダーにとって重要な社会課題を網羅するように制定いたしております。

2024年のKPIと実績

				バウンダリー		2024年実績	
		取り組み課題	2024年マテリアリティKPI	シャルマン	グループ 本社	活動実績	評価
H	人権の尊重と働きがい	・ダイバーシティ ・ワークライフバランス ・女性の活躍の推進 ・キャリア形成 ・サプライチェーンにおける、強制労働・児童労働の撤廃	障がい者雇用率：法定雇用率の達成（2024年 2.5%）	●		雇用率2.24%（2025年3月）	取組中
			女性採用率（R4提出一般雇用主行動計画目標値 40%（R6には項目設定はないが、取り組みは継続）	●		47%（2024年12月）	達成
			エルぼし認定継続	●		三ツ星認定済み	達成
			女性役職者率の向上 （R6提出一般雇用主行動計画目標値10%）	●		4.9%（2024年末）	取組中
			男性の育休取得率向上 （R6提出一般雇用主行動計画目標値20%）	●		0%	取組中
			女性の育休取得率向上 （R6提出一般雇用主行動計画目標値100%）	●		100%	達成
			キャリア形成へのサポート	●		・通信教育講座受講10件 ・資格検定試験8件	取組中
			クラブ活動サポート	●		活動中の全9団体に補助金	取組中
			サプライチェーンにおいて強制労働・児童労働がないか確認	●	●	0件	継続
E	環境マネジメントの推進	・温室効果ガス排出量の削減 ・再生可能エネルギーへの転換 ・プラスチック梱包材の削減 ・廃棄物の削減	GHG算出（2024年実績）	●	●	scope1及び2 6828.0 t-CO2e	算出済
			CO2削減目標の設定	●	●	設定目標：2030年42%削減、2050年ゼロカーボン達成	設定済
			再生可能エネルギーへの転換目標設定	●		2025年までに日本で100%（2025年7月に鯖江は転換）	取組中
			製造工程で発生する廃棄物の削減	●		樹脂くずの再利用・紙類の削減	取組中
			プラスチック梱包材の削減	●		商品袋の代替品の検討	取組中
S	事業活動を通じた人々の生活の質の向上	・イノベティブな技術開発によるQOLの向上 ・安心安全な製品・サービスの提供 ・それぞれの地域社会への貢献	2030 年に向けての指針の決定	●		大目標・2030年目標に向けて取組	実施中
			環境配慮型商品の開発 シャルマン品質についてまとめる	●		環境配慮型商品の開発	取組中
			地域社会への貢献	●	●	職場体験受入、取組中	継続
G	コーポレートガバナンスの強化	・ガバナンス体制・機能の継続的強化 ・コンプライアンス方針の徹底 ・各種リスクに対する管理の徹底	子会社内部検査の実施	●	●	実施中	実施
			税務研修の受講	●		財務部員が受講	実施
			内部通報制度の整備	●	●	内部通報窓口の設定	実施
			自主点検チェックシート	●		四半期毎の自主点検チェックシートの継続的運用	実施
			人権に関する違反件数：0件 ※ パワハラなど人権侵害に起因し懲戒処分となったもの	●	●	0件	継続

活動トピックス H 人財

シャルマンでは、以前より社員のワークライフバランスの向上に取り組んでおります。育児と仕事の両立のサポートはもとより、社員の自己研鑽、クラブ活動への補助も行っており、様々な活動をご紹介します。



健康経営優良法人大規模法人部門に申請

従業員の健康を経営課題として捉え、戦略的に投資・実践することで、従業員の活力や生産性向上、組織の活性化、ひいては業績向上を目指しています。特に優良な健康経営を実践している大企業が経済産業省により、優良法人に認定されます。

活動トピックス E 環境

シャルマンは、環境のことを常に考え活動を継続してまいります。



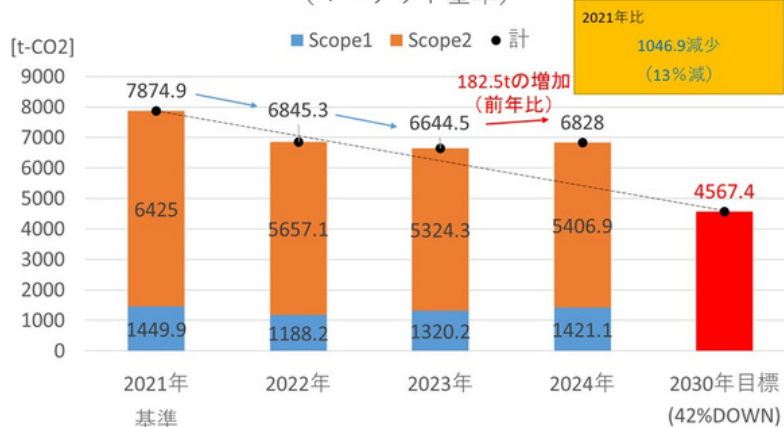
GHG算出 2024年 SCOPE1 + 2

6828.0 t-CO₂e

算出にあたっては、2021年度の福井銀行さま、wastebox社さまにご監修いただいた計算式に基づき算出しております。

【グループ】Scope1+2 CO₂排出量推移グラフ

(マーケット基準)



ゼロカーボンに向けて

2025年 国内工場 100%再エネへ転換。

2030年 Scope 1 + 2 排出CO₂ 43 %削減。

2050年 Scope1 + 2 排出Co₂ ゼロ 達成。

活動トピックス E 環境

シャルマンでは、常に、環境保護を念頭に、生産活動の効率化や安全性の改善に取り組んで参ります。

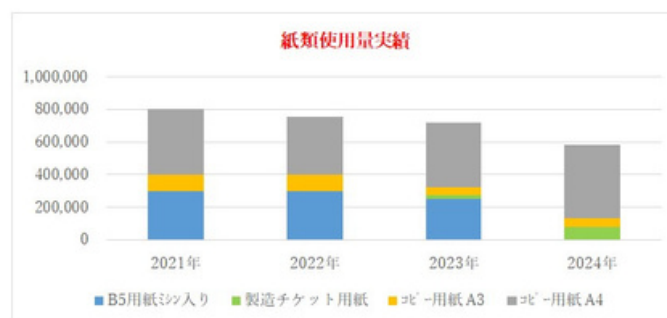
工場でのサステナビリティ取り組み

・樹脂くずの再利用

成形フロント、成形腕の丁番部バレルキャップとして再利用

・D X化推進によるペーパーレスの取り組み

工程管理情報の電子化や、依頼書のコンパクト化などすすめる。依頼書発行枚数は2/3に減少、更にコンパクト化することで、重量換算で59%減。



フォージドカーボン素材利用商品の開発

他の商品の加工時に出了端材を集めてつくられているフォージドカーボン（プレコンシューマー材）を使用してフロントに使用。また切削加工後に出る端材も、熱可塑性樹脂ペレットなどへの再利用可能



活動トピックス G ガバナンス

シャルマングループは法令を遵守し、リスクマネジメントを徹底しながら、ESG課題に積極的に取り組んでまいります。

■ 内部通報制度の整備

法令違反行為、各種内部規定に違反する不正行為などの早期発見とその是正を図り、コンプライアンス経営を強化することを目的として、内部通報制度の通報窓口を設定し、社員に対して、通報制度と通報者の保護について、周知しました。

■ 税務研修の実施

グループ財務部員が、武生間税会、南越法人会、会計事務所等が開催する税務研修を受講し、税務コンプライアンスに対する意識・知識の向上に努めました。

■ 子会社内部調査を行います

海外子会社の内部検査を実施しました。

■ 自主点検チェックシートの継続的運用

税務コンプライアンスに対する意識の向上、運用の徹底を図るために、「自主点検チェックシート（公益財団法人 全国法人会総連合、監修：日本税理会連合会、後援：国税庁）を用いて、四半期ごとに運用状況のチェックを継続的に実施しています。



CHARMANT